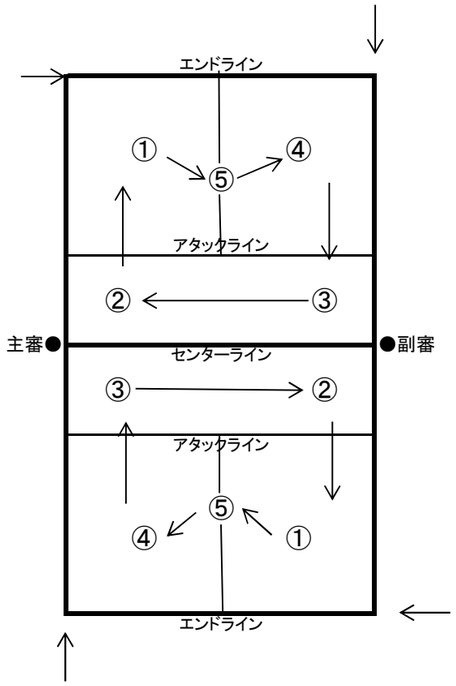
うなバレー（ミニバレーボール）について

R6/8/21更新

《概要》

“うなバレー”は成田市スポーツ推進委員連絡協議会が「ミニバレーボール」をアレンジして考案した競技です。
成田市特別観光大使“うなりくん”を描いたビニールボールを使用し、5人で構成されたチームが
3回～5回でバレーボールの要領で相手チームと打ち合う競技です。



サーブを打つ時点では前衛2名、後衛3名とする。
〇数字はサーブ順、→はローテーションを示す。
サーブは①の位置にいる競技者が行う。
コート外の→は線審の立つ位置と見る方向を示す。

《コートと用具》

①コート　・バドミントンダブルス用コートを使用。
②ネット　・バドミントンまたはソフトバレーボール用ネットを使用。
・高さは2.00m（ただし小学生の部、及びファミリーの部は1.85m）とする。
③ボール　・うなり君ボール（直径25cm、モルテン制ソフトバレーボール50g）を使用。

≪競技方法≫

①チーム　・1チーム5名以上8名以内（競技者5名、交代競技者3名）で構成する。
・競技者は男女混合（原則としてコート内女性2名以上）とする。
・競技は必ず5名で行い、5名が揃わなくなった時点でゲーム途中であっても失格とする。
・サーブを打つ時点では前衛2名、後衛3名とする。

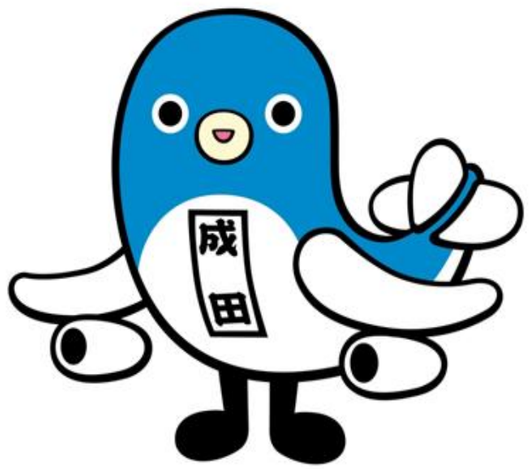
②ゲーム　・1セット15点先取、3セットマッチ（ラリーポイント制）とする。
・ジュースの場合、2点差がつくまで（ただし上限を17点とする。）
・トスにより、サーブ権かコート選択権を決める。
・セット毎にサーブ権とコートの交代をする。
・第3セットサーブ権はトスで決め、1チームが8点先取した時点でコートチェンジする。
・男性はアタックラインを超えてのスパイク禁止。
（着地時、アタックラインを踏み超えてはいけない。）

③サーブ　・サーブは後衛ライトの競技者がアタックラインより後方から打つ。
・サーブは1本としアンダーサーブ（腰から下方）で打つ。
・ボールがネットに触れ相手コートに入ってもサービスミスとし、相手の得点となる。

④パス　・打球は3回以上5回以内で相手コートに返す。
・打ったボールがネットに当たった場合、同一の競技者は1回のみ続けて打つことができる。
（この場合の打数は2打と数え、打数は5回以内でなければならない。）
・二人同時にボールに触れた場合は1回とみなし、そのままプレーできる。
・腰より上であればどこで打っても構わない。

⑤配置　・サーブが打たれた後はどのように移動しても良く、ポジションによるプレー上の制約はない。

⑥タイムアウト　・タイムアウトは１セットに１回、チームキャプテンによりとることが出来る。

⑦選手交代　・選手交代は1セットに2回、キャプテンが主審に対して要求することが出来る。
（ただし、交代する選手は交代した選手のポジションに入らなければならない。）
・セット間の交代は自由とし、1回と数えない。
・事故等があった場合の選手交代は主審の判断により柔軟に対処する。

⑧反則　・チームがローテーション順を誤ってサーブを行ったとき。
・サーブが打たれた瞬間に両チームの競技者が、正しいポジションに位置していないとき。
・競技者がプレー中にネット又はポールに触れたとき。（タッチネット）
・すべてのプレーでネット上より手が出たとき。（オーバーネット）
・ネットの下から相手コートに身体が出たとき。
・同一競技者が2度続けてボールに触れたとき。（ドリブル）
（ただし一連の動作による場合は反則としない）
・ボールを握ったり、身体の一部で静止したとき。（ホールディング）
・ボールが腰より下に当たったとき。
・ボールへの接触が1回又は2回で返球したとき。
・ボールへの接触が5回を超えたとき。